

### まちのわだい

#### 美しい大山を後世に 〜大山一斉清掃〜

大山秋の一斉清掃が、10月16日に開催され、榎水周辺自治会や地元企業などのボランティア151人が参加しました。

この一斉清掃は、春と秋の行楽シーズンを前に年2回行われています。

参加者は8つのグループに分かれ、榎水高原を中心に約2時間かけて、空き缶や煙草の吸殻などを拾い集めました。また、今回は外来種の「セイタカワダチソウ」の駆除も行われ、1m以上に成長した「セイタカワダチソウ」を1本1本抜き取っていました。

この日拾い集めたごみは合計で、可燃ごみ25袋、不燃ごみ8袋、セイタカワダチソウ2tトラック1台分でした。

ごみのない美しい大山を残すために、自分のごみは持ち帰りましょう。



ごみを拾い集めるボランティア

#### 将来の伯耆町について語り合う 〜地区別懇談会〜

伯耆町のこれからのまちづくりについて語り合う地区別懇談会が、10月13日から11月24日にかけて町内6会場で開催されました。

懇談会では始めに、森安町長が伯耆町総合計画の前期計画の評価と総括や、後期計画の予定事業、伯耆町の行財政状況今年度の主な施策について説明しました。

説明後に行われた意見交換会では、伯耆町の少子高齢化対策・防災・道路整備など多岐にわたる意見や質問が出され、その1つ1つについて、町長や担当課長が返答しました。

1会場1時間半と短時間でしたが、有意義な懇談会となりました。



日光地区での懇談会の様子

#### 伝統的の神事がお目見え 〜蛸舞式神事〜



丸梁に抱きつく氏子

日本三大奇祭の1つ「蛸舞式神事」が、10月16日、福岡神社で行われました。

蛸舞式神事は、福岡神社の祭神・速玉男命が嵐で遭難した際に「大蛸」に助けられたという故事にちなんだ祭りで、鳥取県の無形民俗文化財に指定されています。

祭りは、境内にある舞堂で、ふんどし一丁になった氏子たちが、藁で作った蛸をもつ男を神楽囃子にあわせ幾度となく担ぎ上げ、蛸の舞を演じた後、丸梁に抱きついた氏子を下から大勢で回転させます。今年は参加した氏子が多かったため、2人の氏子が大役を務めました。

福岡神社責任総代の住田さんは、「この神事は昔から伝承されてきた地域の貴重な文化財。きちんと次の世代に伝えていきたい」と話しました。

#### さすがプロの仕事

#### 〜シルバー人材センター奉仕作業〜

南部広域シルバー人材センターの岸本支所と溝口支所会員による奉仕作業が、10月29日に行われました。

南部広域シルバー人材センターは、地域貢献を目的に毎年奉仕作業を行っています。

この日は、朝9時から約50人の会員が、役場本庁舎と溝口中学校に分かれて作業を開始。役場本庁舎では、玄関前の木々の剪定や除草作業を、溝口中学校ではグラウンドとその周辺の除草作業を行いました。

シルバー人材センターでは、毎年公共施設を対象に奉仕作業を実施しており、これからも続けられるそうです。



役場本庁舎



溝口中学校

#### 伯耆町から見事入賞

#### 〜小学生ソフトテニス大会〜

平成23年度鳥取県小学生ソフトテニス秋季大会兼第11回全国小学生ソフトテニス大会鳥取県予選会が、10月29日に米子市東山のどらドラパーク米子庭球場で開催されました。伯耆町からは岸本テニススポーツ少年団の7ペア14人が出場しました。

成績は次のとおりです。



見事入賞した選手たち

6年生の部(男子)

下前匠吾(岸本)、河本拓也(岸本)組 第2位

5年生の部(女子)

三好遙佳(岸本)、河上万里(岸本)組 第3位

4年生以下の部(女子)

下前杏菜(岸本)、菊地みずほ(八郷)組 第3位

3位に入賞した2組は、来年3月に千葉県で開催される全国大会に、鳥取県代表として出場します。(6年生は卒業のため、出場は5年生以下が対象)

#### 地元特産品で伯耆町をアピール

#### 〜森と清流の里ふれあい祭〜

伯耆町産の新鮮な野菜や加工品などが販売される森と清流の里ふれあい祭が、10月23日、大山ガーデンプレイスで開催されました。

この祭りは、地元の生産者と消費者の交流を目的に、毎年この時期に開催されています。この日は生憎の雨模様でしたが、地元の農産物などを求め約4000人が来場。農産物の他に、おこわや草餅などの販売や、しめ縄づくり体験、景品抽選会などが行われました。

また、実行委員会は餅つき大会やふれあい汁の販売で得た収益を社会福祉協議会に寄付しました。この寄付金は、1人暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に配付する御節の資金の一部に使われるそうです。



伯耆町の特産物を買求める来場者